

調査レポート

北陸新幹線福井開業に向けた中心市街地における経営の現状と課題に関するアンケート

～新幹線開業後の営業継続意向は4分の3を超える～

調査概要

- 調査時期
令和3年4月22日(木)～5月7日(金)
- 調査方法
郵送での送付、FAX及び郵送での回収、直接訪問での回収
- 調査対象
福井市中央1丁目の209事業所
- 回答数
105件(回答率50.2%)
- 調査の目的
福井駅前の再開発事業や北陸新幹線の延伸開業により、影響を受けやすい業種とされる小売・飲食・サービス業の現況確認に加え、駅前への「期待」の度合いを確認する為、まちづくり福井(株)と共同で調査を実施。

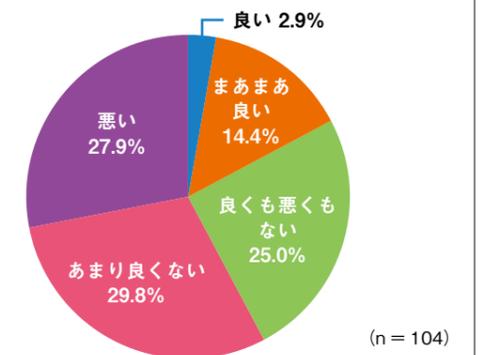
一年前と比較した現在の経営状況

一年前と現在(調査時期)を比較した経営状況は、「悪い」27.9%、「あまり良くない」29.8%と厳しい回答が半数を超えた。(グラフ1)

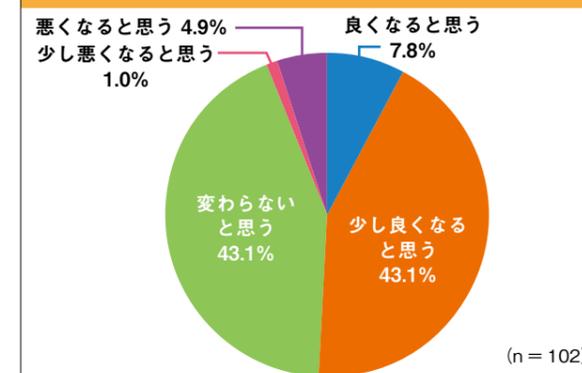
新幹線開業後の駅前の経営状況

新幹線開業後は、「良くなる」「少し良くなる」と回答した割合が合わせて50.9%と半数を超えたが、「変わらないと思う」と回答する割合も43.1%と多くあった。(グラフ2)

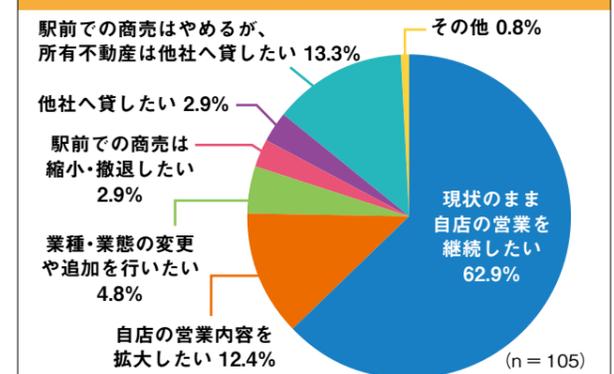
グラフ1 1年前と比較した現在の経営状況



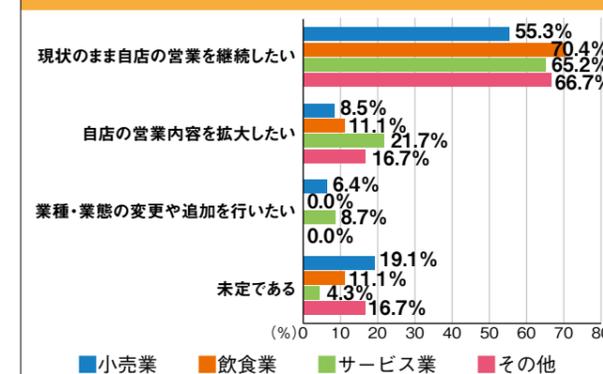
グラフ2 新幹線開業後の駅前の経営状況



グラフ3 新幹線開業後の商売の動向



グラフ4 新幹線開業後の商売の動向(業種別)



新幹線開業後は、「現状のまま」あるいは、「拡大して営業継続」という回答が全体の4分の3を超えた。(グラフ3) また、業種別では、「現状のまま自店の営業を継続したい」との回答が最も多い業種は飲食業であり、7割を超えていた。(グラフ4)

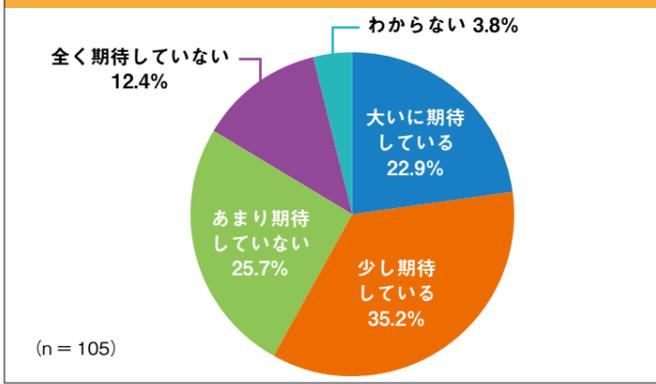
再開発への期待感

全体の約6割が中心市街地の再開発について期待を示した。(グラフ5) また、福井駅前地区の将来については、「まちづくりの方向性を見定め、環境整備を進めていけば栄えると思う」が57.4%、「北陸新幹線や再開発の開業効果もあり、県都の顔として盛り返していくと思う」が14.9%となった。

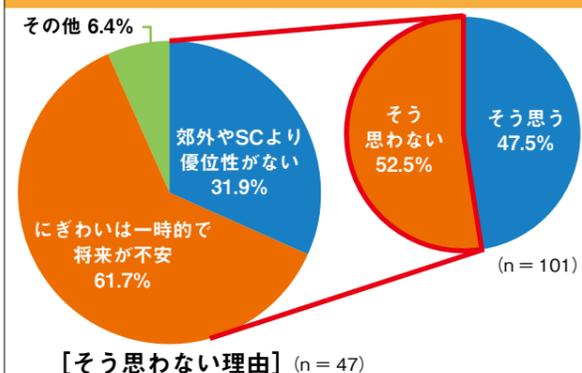
と多数を占めた。福井商工会議所では、福井県・福井市と三位一体となって県都のまちづくりに関する協議する組織「県都にぎわい創生協議会」を昨年から発足させている。当協議会では、北陸新幹線福井開業を見据えた駅前エリアのにぎわい作りに関するソフト・ハード両面での取り組みや方向性を議論しており、今後は本調査の結果を踏まえ、まちの将来像を示しつつ、地元事業者と共にまちづくりに取り組むことで、将来への不安解消を図りたい。

「そう思わない」と回答した方に理由を尋ねると、「にぎわいは一時的で将来が不安」と回答した割合が61.7% (グラフ7)

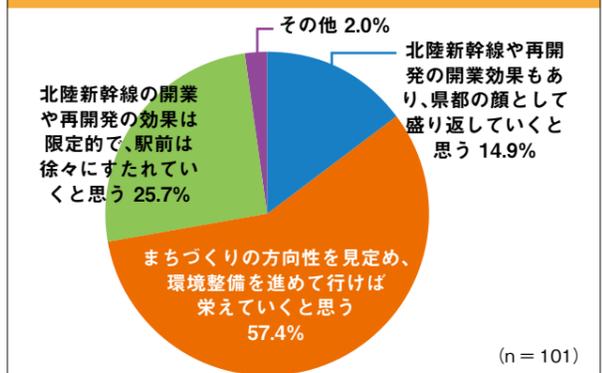
グラフ5 中心市街地の再開発に期待するか?



グラフ7 福井駅前は魅力的なエリアになるか?



グラフ6 福井駅前の将来について



お問合せ
福井商工会議所
まちづくり・産業振興課
☎0776-33-8252
詳細についてはQRコードよりホームページをご覧ください

本アンケートに寄せられた自由意見 (一部抜粋)

- ・小さいお店が生き続けられる「まち」に。
- ・10年、20年後の未来に向けての展望があまり見えてこない。
- ・地元へ愛される街づくりが必要。
- ・「住んでいる人」「働いている人」「観光できる人」にとって便利な駅前になることが必要であると思う。
- ・住みやすい環境作りをしてほしい。

